

個人防護具（医療用マスク・防護服等）の確保状況について

1 基本的な考え方

- (1) 医療機関において概ね3ヶ月分の使用量相当の在庫を確保する。
⇒ 医療用マスクについては5月末、防護服等については6月上旬に在庫確保済
- (2) 県において、概ね6ヶ月分の使用量相当量を保管する。

2 県における保管状況

現時点では、サージカルマスクを除き、概ね4ヶ月分相当量を保管済であり、引き続き確保に努める。

(1) 医療用マスク

【6ヶ月分相当量 サージカルマスク：13,000千枚 N95マスク：400千枚】

区分		現在保管量	7月	8月	9月
サージカルマスク	確保量	—	4,000千枚	4,000千枚	2,500千枚
	保管量	2,500千枚 (約1ヶ月分)	6,500千枚 (約3ヶ月分)	10,500千枚 (約5ヶ月分)	13,000千枚 (約6ヶ月分)
N95マスク	確保量	—	50千枚	50千枚	—
	保管量	300千枚 (約4ヶ月分)	350千枚 (約5ヶ月分)	400千枚 (約6ヶ月分)	—

(2) 防護服等

【6ヶ月相当量 防護服・ガウン：2,800千枚 フェースシールド：800千枚】

区分		現在保管量	8月	9月	10月
防護服・ ガウン	確保量	—	300千枚	300千枚	200千枚
	保管量	2,000千枚 (約4ヶ月分)	2,300千枚 (約5ヶ月分)	2,600千枚 (約5ヶ月分)	2,800千枚 (約6ヶ月分)
フェースシールド	確保量	—	100千枚	50千枚	—
	保管量	650千枚 (約5ヶ月分)	750千枚 (約5ヶ月分)	800千枚 (約6ヶ月分)	—